

○育成する人材像

高等専門学校設置基準（昭和39年文部省令第23号）第3条に基づき、本校に次の育成する人材像を定める。

育成する人材像	専門的能力を持つ人：工学の基本原則を理解し、専門的な技術スキルを活用して、地域産業の発展に貢献し、国内外で活躍できる技術者
	人間力を持つ人：社会での活躍に必要な公共性、国際性、倫理観、チャレンジ精神、広い視野、コミュニケーション力、チームワーク、リーダーシップ、課題発見と解決能力、柔軟な発想力、仕事への熱意を備えた技術者
	持続的学習能力を持つ人：自己成長を目指し、効果的な学び方を身につけ、社会の発展に寄与できる技術者

○教育目標

高等専門学校設置基準第3条に基づき、本校に次の教育目標を定める。

教育目標	一 人格をそなえ、自己を律する人物を育てる。
	二 広い視野を持ち、創造力豊かな技術者を育てる。
	三 チャレンジ精神に富んだ人物を育てる。

○学習目標

高等専門学校設置基準第3条に基づき、本校に次の学習目標を定める。

一 準学士課程

学習目標 (実践的・創造的技術者)	A (技術者として社会に貢献するために) 人類の歴史的な背景、文化や価値観の多様性を理解し、地球的規模で社会問題や環境問題を考える基礎能力、および技術が社会や環境に与える影響を認識し、技術者が社会に対して負っている責任を理解する基礎能力を身につける。
	B (地域・社会に貢献するために) 地域の産業や社会の抱える課題に対処できる基礎能力を身につける。
	C (技術的課題を解決できるように) 工学の幅広い基礎知識(数学、自然科学、情報技術、基礎工学)を修得し、それらを応用する能力を身につける。
	D 技術者として自己の基盤となる専門分野の知識を修得し、それを応用する能力を身につける。
	E 技術的課題を分析・総合し、解決するための計画をたて、その計画を実行して課題を解決する基礎能力を身につける。さらに、チームワークで仕事をする基礎能力を身につける。
	F 文章、口頭、図表や視覚的な方法によって、効果的にコミュニケーションができる基礎能力を身につける。すなわち、日本語で論理的に記

	述し討論する能力、および簡単な論理的文章を英語で記述し、基本的な英会話によるコミュニケーションを行うための基礎知識を身につける。
	G (技術の進展や社会の変化に対応できるように) 継続して専門知識や関連する分野の知識を学習する習慣を身につける。

二 専攻科課程

学習目標 (高い課題設定・解決能力を備えた実践的・創造的技術者)	A (技術者として社会に貢献するために) 人類の歴史的な背景、文化や価値観の多様性を理解し、地球的規模で社会問題や環境問題を考える応用能力、および技術が社会や環境に与える影響を認識し、技術者が社会に対して負っている責任を理解する応用能力及び技術者としての倫理観を身につけている。
	B (地域・社会に貢献するために) 地域の産業や社会の抱える課題に対処できる応用能力を身につけている。
	C (多様な技術的課題を解決できるように) 工学の幅広い基礎知識(数学、自然科学、情報技術、設計・システム系、情報・理論系、材料・バイオ系、力学系、社会技術系の基礎工学)を修得し、それらを応用する能力を身につけている。
	D 技術者として自己の基盤となる専門分野の知識(専門応用系、工学実験系、問題解決系、実務対応系)を修得し、それを応用する能力を身につけている。
	E 多様な技術的課題を分析・総合し、解決するための計画をたて、その計画を実行して課題を解決するデザイン能力を身につけている。さらに、チームワークで仕事をする能力を身につけている。
	F 文章、口頭、図表や視覚的な方法によって、効果的にコミュニケーションができる応用能力を身につけている。すなわち、日本語で論理的に記述し討論する能力、および簡単な論理的文章を英語で記述し、英会話によるコミュニケーションを行うための基礎知識を身につけている。
	G (技術の進展や社会の変化に対応できるように) 日本語だけではなく英語も使用して、継続して専門知識や関連する分野の知識を学習する習慣を身につけている。